令和６年度　事　業　報　告

（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

１．　総括

令和６年度の事業活動では、以下の活動を通じて、地域社会の高度情報化を進めることができました。これらの活動は、事業計画に基づいて実施しました。
また、事業活動は以下の方針に沿って実施しました。

・情報化に関する調査・研究・研修・広報活動等を行い、県民が情報サービス恩恵を広く享受できる環境作りを推進しました。
・情報サービス産業の健全な発展を図ることにより高度情報通信ネットワーク社会の形成を推進し、地域経済の発展及び公共福祉の増進を目指しました。

各事業活動は、理事会、企画調査室、各部会、事務局がそれぞれの役割を果たし、事業を分担しながら実施しました。その結果、会員や地域社会に対して、活動成果を提供し、地域経済の発展と公共福祉向上に貢献しました。
これからも、当協会のスローガン「集まれば千葉のエンジン」を体現し、人と人との繋がりを大切にしながら地域に根ざした公益活動を継続していくことを目指します。

２．事業活動報告

下記組織（１室・５部会）が中核となり、事業活動を実施しました。
（事業活動組織）

ａ．企画調査室　　ｄ．広報部会
ｂ．総務福利厚生部会　　ｅ．教育技術部会
ｃ．事業企画部会　　ｆ．コンソーシアム部会

（１）情報サービスに関する調査及び研究に関する事業

令和６年度は，次の事業を実施しました。

①情報技術研究、調査に関する事業

Ａ．ＡＮＩＡ(全国地域情報産業団体連合会)活動

令和６年１０月に、全国大会が山梨県で開催され、また、令和７年２月に賀詞交歓会が開催されました。
当協会ではＡＮＩＡとの連携を重視し、積極的に各種の会議に出席し情報収集を行いました。

主な会議日程は以下のとおりです。

・総会　　：７月４日
・理事会　　：４月１９日、７月４日、１０月１７日、２月１２日。
・全国大会　：１０月１７日
・賀詞交歓会：２月１２日。
・事務局会議：５月２２日、７月２２日、１０月１６日、２月１３日

Ｂ．千葉県内大学による卒業論文発表会

本事業は県内理系大学学生に、卒業論文の発表の場を与え、学生の勉学意欲向上を支援する目的で開催しています。

学生の勉学向上支援の他、付随的に情報産業界、教育界、官公庁間の連携強化を図ることも目的としており、令和６年度は、令和７年２月２８日（金）に開催し、当日の発表者は５校２０名でした。また、合計視聴者数は４３名で、発表者の他、各大学の指導教官、当協会会員が参加し、活発な意見交換、質問が行われました。

Ｃ．他産業界・視察ツアー

令和６年度は、「スマートモビリティの可能性とドローン技術の最新動向」をテーマとし、「ドローン」や「自動運転」にスポットを当て、その開発の技術動向や現在お持ちの課題や展望を伺うべく、最前線の事業者の視察を行いました。

本事業は他業態の実態を肌で体験しＩＴ推進に活かす目的で、チャーターしたバスを使って、企業先等を訪問・視察するもので、平成２６年（２０１４年)、ＡＮＩＡ（全国地域情報産業団体連合会）と共催した「農業ＩＴカンファレンス（２日間)」を第１回から、「農業の実情把握」、その後、「漁業の実情把握」、「ＮＴＴ　ｅ－Ｃｉｔｙ Ｌａｂｏ」、「オーガニックと地域活性化の現況把握」を実施しており、今回で第６回となります。
今回の参加者数は、１０社１３名でした。

（２）情報化に関する普及啓発及び促進に関する事業

令和６年度は次の事業を実施しました。

①情報システムの普及推進支援事業

Ａ．ちばＤＸフォーラム（２月７日）

千葉県ＤＸ推進協議会が主催するフォーラムで、次項の当協会主催する「千葉県内中小企業向けビジネス交流会」と共催する形で開催しました。

本フォーラムのテーマは「デジタル時代の人材不足への対応と人材育成」と題し、「ＡＩ等のデジタル技術を活用した働き方改革について」と「デジタル時代の人材とその育成について」の２つの講演を行いました。

Ｂ．千葉県内中小企業向けビジネス交流会

令和元年から、千葉県内中小企業のＩＴ化を支援する目的で開催している事業で、令和６年度開催が６回目となります。

開催初年度はコロナ前でしたので、「対面方式のみ」で実施。その後、「オンライン方式」、「対面・オンラインの併用方式」と開催方式を変えてながら継続開催し、今年も前年度と同様、会場に集まっていただく「対面方式」のみに拘って「基調講演」と当協会会員企業による「ブース、パネル出展」、新規入会会員と既存会員による「リレープレゼン」を行いました。

今年の開催概要は以下のとおりです。

【開催概要】

・開催日時　令和７年２月７日（金）１０：００～１７：００

・開催場所　千葉市文化センター　５階（講演会場、展示会場）

・開催形式　対面方式

・開催内容

講演会　：　基調講演、リレープレゼン

展示会　：　ブース出展、パネル出展

・開催規模

出展企業：　１８社

参加者数：　２４８名

後援　：　７先

協賛　：　１０先

参加者費用　来場者、無料

出展企業費用

・ブース出展　５．５～２２万円の３区分

・パネル出展　２．２万円

広告方法　チラシ、ポスターを会員・関連団体・職域、官公庁等へ配付する他、当協会ＨＰへの掲載、プレスリリース等を実施。

後援　経済産業省関東経済産業局、千葉県、千葉市、公益財団法人千葉県産業振興センター、公益財団法人千葉市産業振興財団、一般社団法人千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会

協　賛　(株)千葉銀行、(株)千葉興業銀行、(株)京葉銀行、東日本電信電話(株)千葉事業部、(株)ジーウェイブ、船橋情報ビ

ジネス専門学校、ミツイワ(株)、(株)オニオン新聞社、(株)システムイオ、公益情報システム(株)

主　催　　公益社団法人千葉県情報サービス産業協会

出展企業　　ちばぎんコンピューターサービス(株)、東日本電信電話(株)千葉事業部、船橋情報ビジネス専門学校、公益情報システム(株)、(株)ジィ・シィ企画、富士通 Japan(株)、(株)AS ネットワークセキュリティ、(株)エアリー、(株)オニオン新聞社、(株)ジーウェイブ、首都圏システム開発(株)、ダイワボウ情報システム(株)、NPO 法人日本情報技術取引所、(株)ビーガル、(株)ＮＩＤ・ＭＩ、ちば興銀コンピュータソフト(株)、宮川電気通信工業(株) 、(公財) 千葉県産業振興センター

【講演概要】

・オープニング

公益社団法人千葉県情報サービス産業協会会長　宮城 和彦

千葉県産業振興センター 戦略事業推進部デジタル推進課課長 石川 裕也様

公益社団法人千葉県情報サービス産業協会事務局長 阿部 政臣 CHISA の紹介

・基調講演

「挑戦と成長のマインドセット：里崎智也が伝える成功の秘訣」

里崎　智也　様（元千葉ロッテマリーンズ）

・リレープレゼン

株式会社オロ

株式会社シナプスイノベーション

Sfil 法律事務所

株式会社ビーガル

・令和６年度ちばＤＸフォーラム

講演１　「ＡＩ等のデジタル技術を活用した働き方改革について」

日本マイクロソフト株式会社　パブリックセクター事業本部

公共・社会基盤統括本部　自治体戦略本部

本部長　桐戸　勇作　様

講演２　「デジタル時代の人材とその育成について」

総務省地域情報化アドバイザー

株式会社デジタル人材開発サポート

代表取締役　高村　弘史　様

・クロージング

公益社団法人千葉県情報サービス産業協会副会長　井上　暁彦

【事業の成果】

１．地域、県内中小企業等への事業効果

・本年度も当協会会員の出展に加え、千葉県産業振興センター様のブース出展を行い、地域に根ざした交流会として定着化してきました。

・当協会の開催目的「千葉県内中小企業に対するＤＸ化支援」及び「千葉県内中小企業との交流・出会いを深め、当該企業各社の事業の効率化・収支構造の改善を目指す」が達成できました。

・今年も「対面方式」で開催した結果、来場の熱意が感じられる「交流」が展示ブースの各所で見られました。

・各ブースでは、対話・質問内容に深まりが感じられ、ＤＸ化に対する関心度アップや各社のＤＸ化推進の動機づけができました。

・本交流会の開催は、県内中小企業のＤＸ化推進支援に有益なもので、地域経済の活性化にも多大な貢献ができています。

２．今後の計画、目標

・ＤＸの技術進展は目まぐるしく、当協会では、引き続き県内中小企業のＤＸ化推進を支援します。

・また、地域社会を支える「核となる事業」として展開を図ります。

・本交流会の開催は、上述のとおり、県内中小企業及び地域社会に対し充分な事業効果があったものと考えます。

・これらの実績を基に、次年度以降も継続開催して地域社会・経済を支援していきます。

Ｃ．ロボット・カー　親子プログラミング教室

本事業は、小学校高学年生に対し教材の「ロボット・カー」を走行させるプログラミング学習を行うもので、親子参加でプログラムを組み「ロボット・カー」が直進・後退・進路変更等を行う様子を体験させる事業ですが、令和６年度の開催を中止しました。

② 情報システム活用啓蒙推進事業

Ａ．講演会・セミナー等

（ア）「賀詞交歓会講演会」

賀詞交歓会開催に併せて講演会を開催しました。

当日は、千葉県にゆかりのある落語家の三遊亭律歌師匠をお招きし、新年に相応しい「初天神」と題しまして講演をいただきました。

Ｂ．広報活動

（ア）広報誌「ＣＨＩＳＡジャーナル」

第５１号(総会号)と第５２号(新年号)を発刊しました。

総会号は、境麻千子副会長の退任と井上暁彦新副会長の就任挨拶、新旧事務局長の交代を掲載しています。

新年号は、賀詞交歓会の様子やちばぎん総合研究所様「マネジメントスクエア１月号　新春特別鼎談」に宮城会長、井上副会長が掲載され、中小企業のＤＸ推進及び、当協会の活動について語られたことを紹介しました。また、「人材確保等支援事業」についての活動報告を掲載しました。

（イ）協会活動報告「協会だより」

当協会では、協会活動を会員と地域の方々にも知っていただく目的で、「協会だより」を作成し、ホームページに掲載・発信しています。

本協会だよりは、理事会開催の都度作成し、理事会の審議内容や協会組織である各部会の活動状況をお知らせしています。

令和６年度の発信回数は７回となりました。

（３）情報サービスの人材育成及び確保に関する事業

令和６年度は次の事業を実施しました。

①情報サービスの人材育成に関する事業

Ａ．ＣＨＩＳＡ実践型新入社員研修（実践型人材養成システム）の実施

新入社員を対象とした研修で、当協会が組織する「ＣＨＩＳＡ実践型新入社員研修実行委員会」が企画運営を担い、教育訓練機関と連携し実施しています。

本事業は１７年の実績があり、受講メリットの一つに研修受講生間に同期意識が醸成されることが挙げられます。この結果、研修終了後、受講生が所属企業に戻った後も、気兼ねなく他企業の仲間に連絡が取り合えるという効果が生まれています。

令和６年度の受講者数は１５社、５８名でした。

Ｂ．新技術調査研究会の活動

令和６年度は、新技術調査研究の発表会を、令和７年２月２８日（金）に開催しました。

発表者数は、９社１５名で、４チームに分かれ１年間研究を行った成果が発表されました。当日の視聴者数は、発表者の他、発表企業の社員、会員等で４４名でした。

本活動は、令和６年度で２２年目となる歴史を持ち、会員企業若手技術者の育成と参加者の企業間交流を主目的とした事業として定着しています。

具体的なフローとしては、年度初めに参加者を募り、研究テーマ別にチーム編成後、テーマに沿って共同研究を行い、活動の成果を年度末に開催する「成果発表会」で発表していただいています。

例年、卒業論文発表会と同日の開催で、参加した学生との質疑応答を通し相互研鑽を実施しています。また、発表会後に開催する懇親会では、企業経営者、調査研究会発表の若手技術員、卒業論文指導教官、卒業論文発表の学生が集まって交流を深めています。

Ｃ．技術研修会の開催

ＩＴ技術者育成のための研修「ＣＨＩＳＡ情報通信人材研修」を技術系、業務系、管理系、ヒューマンスキル系の４分野に亘って開催しました。

令和６年度は、計１４コース、１１８名の方に受講していただきました。

②情報サービスの人材確保に関する事業

Ａ．インターンシップ・マッチング会

インターンシップは、学生の企業就労体験を支援するものですが、事前に学生と会員企業を集めたマッチング会を開催し、インターンシップ参加者を決定しています。

本事業は今年度で２４年目になり、令和６年度は参加学生が、延べ２３名、受入企業数は３社となりました。

（４）情報サービス産業の経営基盤の確立整備に関する事業

令和６年度は次の事業を実施しました。

①経営基盤の確立に関する調査、研究事業

Ａ．学生向け合同企業説明会の開催

令和６年度は、学生向けの会社説明会を２月５日と２月２１日の２回に分けて開催しました。

当協会会員の参加企業数は、それぞれ１５社、１３社の計２８社で、参加学生数は、それぞれ、２２１名、２０２名となりました。

②会員の福利厚生向上に関する事業

Ａ．ＣＨＩＳＡ総合共済制度（別法人、「なのはな共済会」が運営）

本事業は、なのはな共済会事業として実施しているもので、同制度を実施してから令和６年度が２４年となります。

この間、共済会の加入者に充実した保障と各種福利厚生サービスを提供し、加入企業のニーズに応えられる活動を行っています。

共済会ではリゾートホテルの会員券を所有しており、加入会員は、当該施設が利用できる仕組みとなっています。

加入条件は当協会会員等の条件を満たす必要がありますが、共済会は当協会が運営しており、別法人組織ではありますが、実質面で当協会会員向けの福利厚生を目的とした事業を行っています。

（５）情報サービス産業の振興に係る国内外との交流及び連携促進に関する事業

令和６年度は次の事業を実施しました。

①会員間、関連外部団体との交流・連携

Ａ．定時総会

令和６年度の定時総会は、令和６年６月２１日（金）にホテルポートプラザちばで開催しました。

議案は、報告事項として、「令和５年度年度事業報告について」と「令和６年度事業計画及び収支予算について」の２件で、審議事項は、「役員の選任について」と「令和５年度収支決算について」でしたが、何れも原案どおりの内容で承認されました。

総会後の懇親会は、官公庁、関連団体等の来賓の方々にもご出席いただき、和やかな懇親会となりました。当日の参加者は、８４名（内来賓１６名）となりました。

Ｂ．賀詞交歓会

令和６年度の賀詞交歓会は、令和７年１月２６日（金）にホテルザ・マンハッタンで開催しました。

講演会は、三遊亭律歌　師匠をお招きし、新年に相応しい演目「初天神」をお話いただきました。続く懇親会も、「バルーン・パフォーマンスショー」が会場の人気を集め盛り上がりのある内容となりました。

当日の参加者は、１２１名（内、来賓２３名）でした。

Ｃ．会員企業懇親会

令和６年度は、会員企業懇親会の開催を中止しました。
本事業は会員企業間の懇親を深める目的で開催しているもので、会員企業であれば何方でも参加可能で、各層の方々と会員企業間交流ができると好評です。

Ｄ．スポーツ大会等

令和６年度も、会員交流を目的としたスポーツ大会を開催しました。
実施内容は以下のとおりです。

・ダーツ大会　（７月１２日　２９名）
・ＣＨＩＳＡフットサル大会（１１月　９日　１３チーム）
・懇親ゴルフ大会　（３月２５日　７組２７名）

Ｅ．他県協会との交流会の開催

東京、神奈川、埼玉、山梨、福島、千葉の情報サービス産業協会６団体で組織する「広域首都圏情報団体連絡協議会（略称：メトロ）」に参加し、情報交換等をとおして当協会の発展に寄与しました。
なお、令和６年度の行事は以下のとおりです。

・事務局会議開催日：令和６年７月５、６日、１１月１５日
・幹部会議開催日　：令和７年３月７日
・メトロエリアグリーンゴルフ大会：令和６年１０月４日

②官庁等との交流・連携

官公庁等と交流・連携し、関係する委員会のメンバーとして参画し活動しました。

A. ちばデジタル支援ネットワーク連携会議（主催：千葉県）

千葉県商工労働部産業振興課、千葉県産業振興センター及び、各登録機関と連携する会議

Ｂ．産官学連携支援機関連携会議（主催：千葉県産業振興課）

地域未来投資促進法に係る関係機関の連絡会議

Ｃ．千葉県ＤＸ推進協議会（主催：千葉県総務部）

千葉県のＤＸを推進するため産官学で構成された協議会

Ｄ．千葉県ＩＣＴアドバイザリー会議（主催：千葉県総務部）

千葉県のＩＣＴ戦略検討会議

Ｅ．千葉県男女共同参画推進連携会議（主催：千葉県男女共同参画課）
千葉県の男女共同参画を推進する会議

Ｆ．高度職業能力開発促進センター運営協議会
高度職業能力開発促進センターの運営、助言を行う会議で、年２回開催された会議には鈴木前事務局長、阿部事務局長がメンバーとして参画しました。
・６月１４日、１１月２９日

③加盟外部団体等
令和６年度は下記団体に加盟して活動する他、収集した情報を活用して当協会の発展に寄与しました。

Ａ.情報サービス産業協会（ＪＩＳＡ）
Ｂ．全国地域情報産業団体連合会（ＡＮＩＡ）
Ｃ．広域首都圏情報団体連絡協議会（メトロ）
Ｄ．首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議
Ｅ．千葉社会保険協会

以　上